

報告期間	ユーザー様名		S I 名・指導者名	
2006年9月1日( )から	A社		OFFICE-IGUCHI	
2006年9月30日( )まで			井口 一成	
製品の内容、製品種類数、製品の単価(最高・平均・最低など)				
家電品部品、OA機器部品				
生産形態、工程の要素				
組み立て 機械加工 板金 プレス 溶接 塗装 メッキ 研磨 鋳物 鍛造 熱処理 実装、SMT 溶解 スリット 切断 溶断 成型 圧延 凝固 接着 食品加工 プラスチック加工 化学薬品 衣類(裁断・縫製・ボタン) 皮、ゴム、紙加工 織、編 印刷(除マニュアル等)・手書き 染色 エッチング その他( )				
指導種類	新規導入 バージョンアップ 再導入 その他( )			
今回指導回数	71回目～80回目			
TPiCSバージョン	TPiCS X Ver3.1			
オプション・DB	受注販売管理OP、			
アイテム件数	3042件	BOM	4027件	所要量計算 22回/月
		製番展開		回/月
実績インプット	202件/日	伝票発行	22回/月	伝票発行 175件/回
		製番展開		件/回
出席者	社長、生産管理PG責任者、運用担当者、			
<b>今回の指導目的</b>				
<b>【今月の予定】</b>				
・生産管理業務の見直しをして業務改善をする。				
・期末棚卸を行う。				
<b>【9月の実施内容】</b>				
発言者：(社長、TPiCS導入責任者、運用責任者、各課の担当者、)				
受注業務、出荷業務、計画立案業務、納品受付業務、の担当者と責任者を対象にヒヤリングを現場で実施し業務改善をした。				
<b>【受注業務】</b>				
得意先からは、得意先の機種番号で内示を貰い、確定情報は子部品で貰うものがありました。				
担当者は、TPiCSに登録しなかった。				
「対策」				
・マスターは、機種番号の登録と機種と子部品(当社の完成品部番)の構成を登録した。				
・運用は、機種の内示情報を登録した。(内示は週一回)				
・子部品(当社の完成品部番)の確定受注を登録し、機種の内示情報から確定になったものを削除した。				
(確定は毎日)				
「結果」				
得意先の機種内示情報をTPiCSで活用できるようになった。				

「効果」

- ・ 社内の生産計画表、外注先生産計画表の精度が向上しました。
- ・ 納入リードタイムの長い部品や材料の発注精度が向上しました。

【出荷業務】

棚に何が何個在るか誰でも分かるように倉庫在庫の整理整頓をした。

T P i C S の製品在庫と現物在庫のチェックが出来るようになり、マイナス在庫発生時点で「入力遅れ」「入力漏れ」等の対策が出来て、作業者の意識を高めることが出来た。

【棚卸業務】

本稼働をスタートして初めての棚卸で、T P i C S の機能を活用し前回より早く正確に出来ました。

棚卸当日に作業を完了することが出来た。

【10月の予定】

- ・ T P i C S 生産管理システムを活用して業務運用をする。

**結 論**

**【所感】**

4月よりTPiCS生産管理システムを本稼動できました。

現場での運用を調査すると、問題点に気が付かないで間違った作業をしている所があった。

このような問題を解決し、TPiCSの正しい運用と現場管理について再度説明し、手順書を修正して作業者に徹底させてきました。この成果が出て運用が良くなってきました。

4月よりTPiCSの専任者として60歳の方を採用して頂きました。

この方を中心としてTPiCSの運用が出来るように指導・育成をしてきました、今回の棚卸業務を完了し、運用に関する業務が可能となりました。

今後は、改善やトラブル時などの必要時に連絡を頂くことになりました。

**検討事項・要回答事項・要継続審議事項**

事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	
事項		担当部署		期限	

次回開催日(予定)	次回開催場所(予定)	議事録作成日	議事録作成者
		年 月 日( )	